

# 阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 7月30日 火曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)	
1. 岸信夫 さん前 (15.8)	1	29.7	5.5		珪	1140
	3	27.8	5.9	33	珪	570
	5	26.8	5.9		珪	230
2. 大江 (13.7)	1	29.3	5.6		珪	1240
	3	27.5	5.8	32	珪	670
	5	26.5	5.8		珪	330
3. 道方 (11.3)	1	28.3	5.7		珪	1070
	3	27.0	5.5	33	珪	410
	5	25.9	5.3		珪	130
4. 毛無 (17.7)	1	28.5	5.9		珪	810
	3	27.5	6.0	32	珪	220
	5	26.6	5.9		珪	150
5. この浦 (中央) (13.0)	1	28.8	5.3		珪	880
	3	28.2	5.4	33	珪	280
	5	27.9	5.6		珪	190
6. この浦 (奥) (9.2)	1	29.2	4.9		珪	800
	3	28.0	5.3	32	珪	250
	5	27.7	5.3		珪	200
7. テラマル (19.2)	1	27.7	5.5		珪	880
	3	27.1	5.6	33	珪	310
	5	27.0	5.6		珪	230
8. カマバ (11.5)	1	27.3	5.1		珪	1060
	3	27.0	5.0	33	珪	460
	5	26.3	4.8		珪	280

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)  
 今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。  
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。